

## 私の留学体験記

広島県立福山誠之館高等学校 2年 伊木 心 (いぎ ここ)  
留学期間 令和5年12月9日(土) ~ 12月23日(土) (15日間)  
留学先 ①Oslo Handelsgymnasium 高校 ②Amalie Skram 高校  
(ベルゲン・オスロ、ノルウェー)

### <Oslo Handelsgymnasium 高校、Amalie Skram 高校との交流>

オスロに着いて一番驚いたことは広島との気候の違いです。雪だらけの外は初めての感覚でした。また日本と比べてとても寒かったのですが、どこも室内は暖かく過ごしやすかったです。Oslo Handelsgymnasium 高校では主に授業に参加しました。授業はグループワークが多い印象でした。グループに参加して宗教や地理、ノルウェー語、英語など様々な授業に参加しました。どの授業でも積極的に生徒たちが発表をしていました。またノルウェーの生徒たちが積極的に話しかけてくれるのでとても嬉しかったです。私が英語をあまり聞き取れなかったときには分かりやすい英語に変えて丁寧に教えてくれました。フリータイムでは外で現地の高校生たちと雪合戦をしました。現地の生徒たちはとてもフレンドリーだと思いました。授業終わりにはホストファミリーの生徒とその友達とクリスマスマーケットに行きました。みんなでチュロスを食べたり写真を撮ったりしてとても楽しかったです。Amalie Skram 高校では主に観光やジンジャーブレッドハウスを作ったりコンペティションをしたりと色々なことを初めて体験しました。コンペティションは日本との違いを感じました。みんな楽しみ、面白くしたり、間違えたりしても楽しくやればいいんだと気付かされました。世界遺産のブリッゲンを現地の生徒たちが案内してくれました。とてもカラフルできれいでした。その中にあるお土産屋さんでもたくさん買い物ことができました。フロイエンにはフライアウェイで登りました。その頂上でみんなでソーセージを食べました。雨で寒かったのですがとてもいい思い出です。お別れ会では去年卒業した生徒たちとも話すことができたくさん英語を喋ることができました。最終日にはみんなでスケートに行って遊んだあと涙のお別れをしました。とても楽しい時間を過ごせたことに感謝しています。

### <ホームステイ先での生活>

ホームステイ先ではノルウェーの料理を食べさせてもらいました。特にサーモンと bosanski pilav が美味しかったです。家ではクリスマスツリーを一緒に飾り付けをしたり、プレゼント交換をしたりなどとても楽しい時間を過ごしました。いろんな写真を紹介してくれて、それを見ながらたくさん会話をすることができました。「ここはあなたの家だからリラックスしてね。」と言われたときはとても嬉しかったです。自分も家族の一員のように接してくれて温かい家庭だと感じました。毎日「今日は何をした?」「どうだった?」と聞いてくれるのですが、そこでうまく伝えられないこともありましたが、なんとか自分で話して伝えることができました。

### <今回の留学を終えて>

最初は英語のスピードが速く聞き取れないこともたくさんありましたが、だんだん慣れてきてある日こんなに英語が聞き取れるのだと感じ、2週間でもとても成長できたと感じています。授業や交流をして自分をもっと積極的にならないといけないと感じました。いつも誰かが私に質問してくれて、それを答えるだけになっていたのも、もっと自分から話しかけて分からないことがあったら質問をしていくようにしなければいけないと感じました。またみんなはっきりと自分の意見を持って伝えていたので、私も英語でそうできるように頑張っていきたいです。将来英語を使って仕事をしたいと思っているので、この短期留学の経験を生かして英語の勉強も頑張り、何事も積極的にになりたいと思います。

